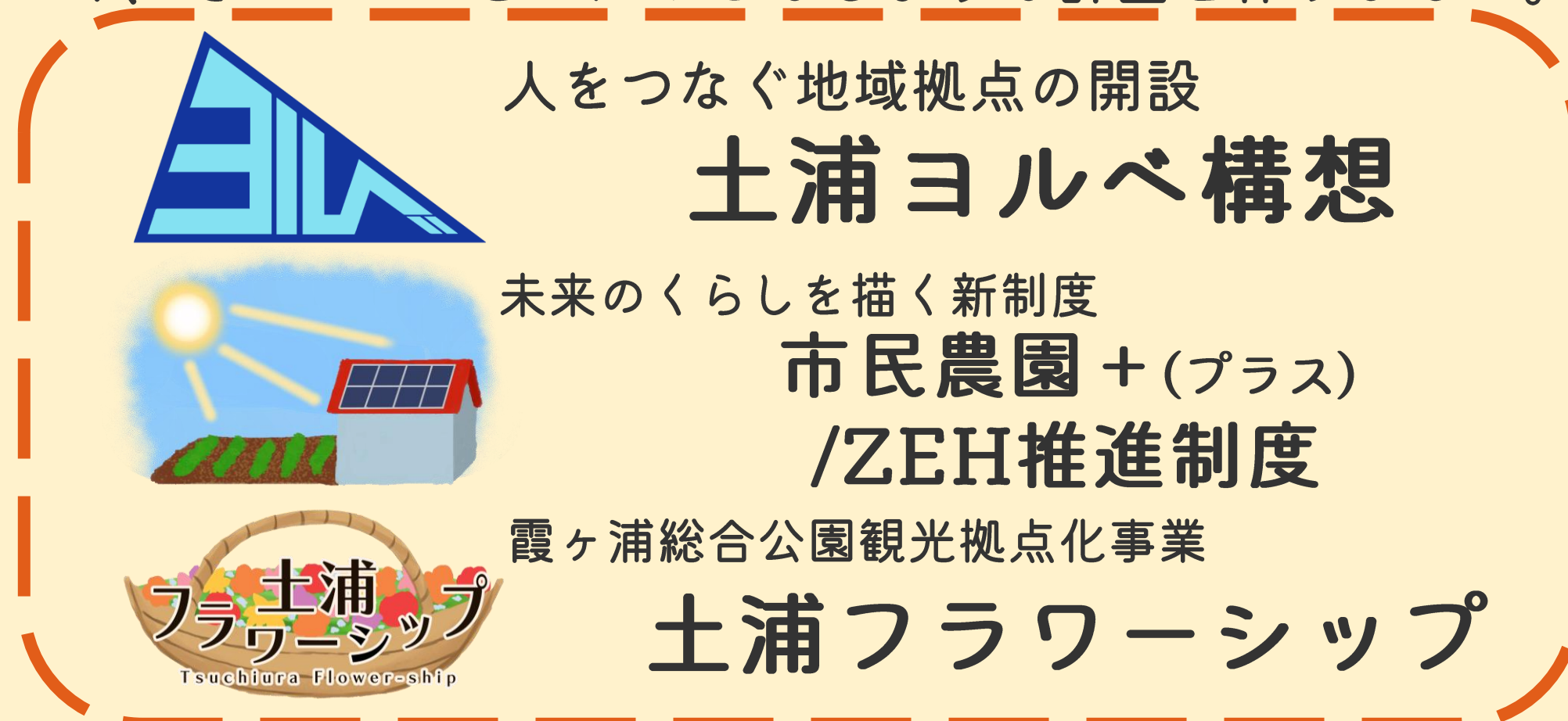


ココから変える、 ココロから変わる。

土浦の課題を解決するカギは
人々のココロにあり。

都市が抱える様々な問題に向き合い、これからも住み続けたい
なるまちをつくるもの、それは、一人一人のまちに懸けるココロ
ではないでしょうか。

一人一人がまちづくりの主演となり、私たち自身が土浦を変え
ていく、そのためのきっかけとなるような計画を作りました。



一人一人がまちを想い、
行動しようとするココロを持つ

土浦ヨルベ構想



「ヨルベ」は市内各所に配置される地域拠点施設の名称です。土浦市が整備し、運営はNPO法人「ヨルベプロジェクト」によって行われ、市内の事業者や利用者自身も施設の運営に関わっていきます。

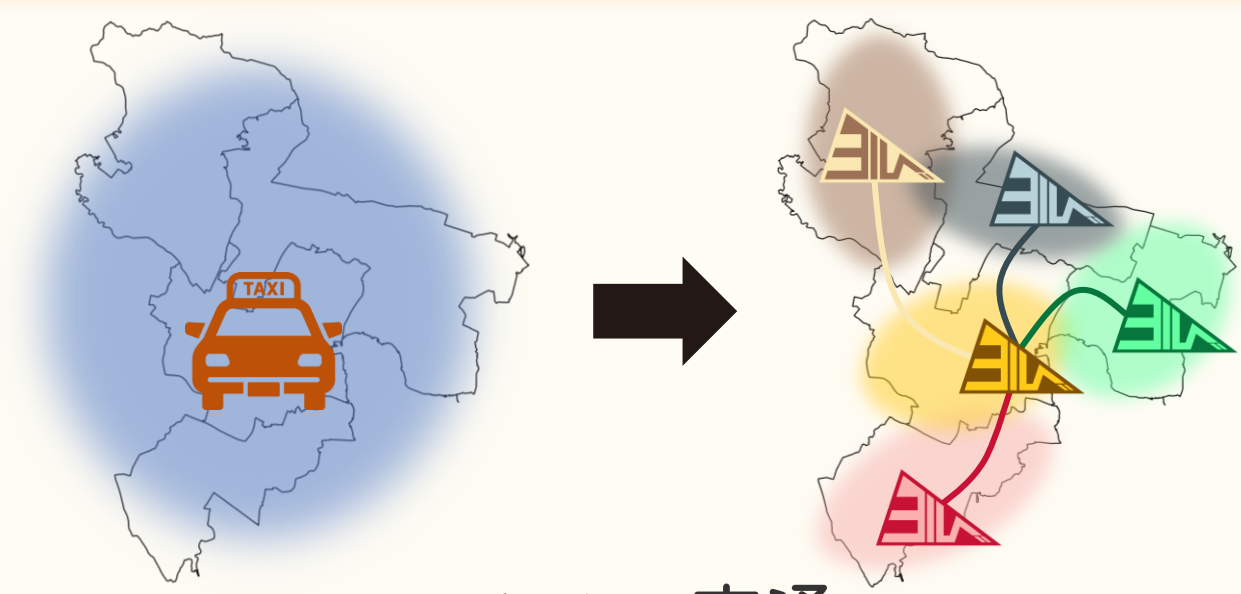
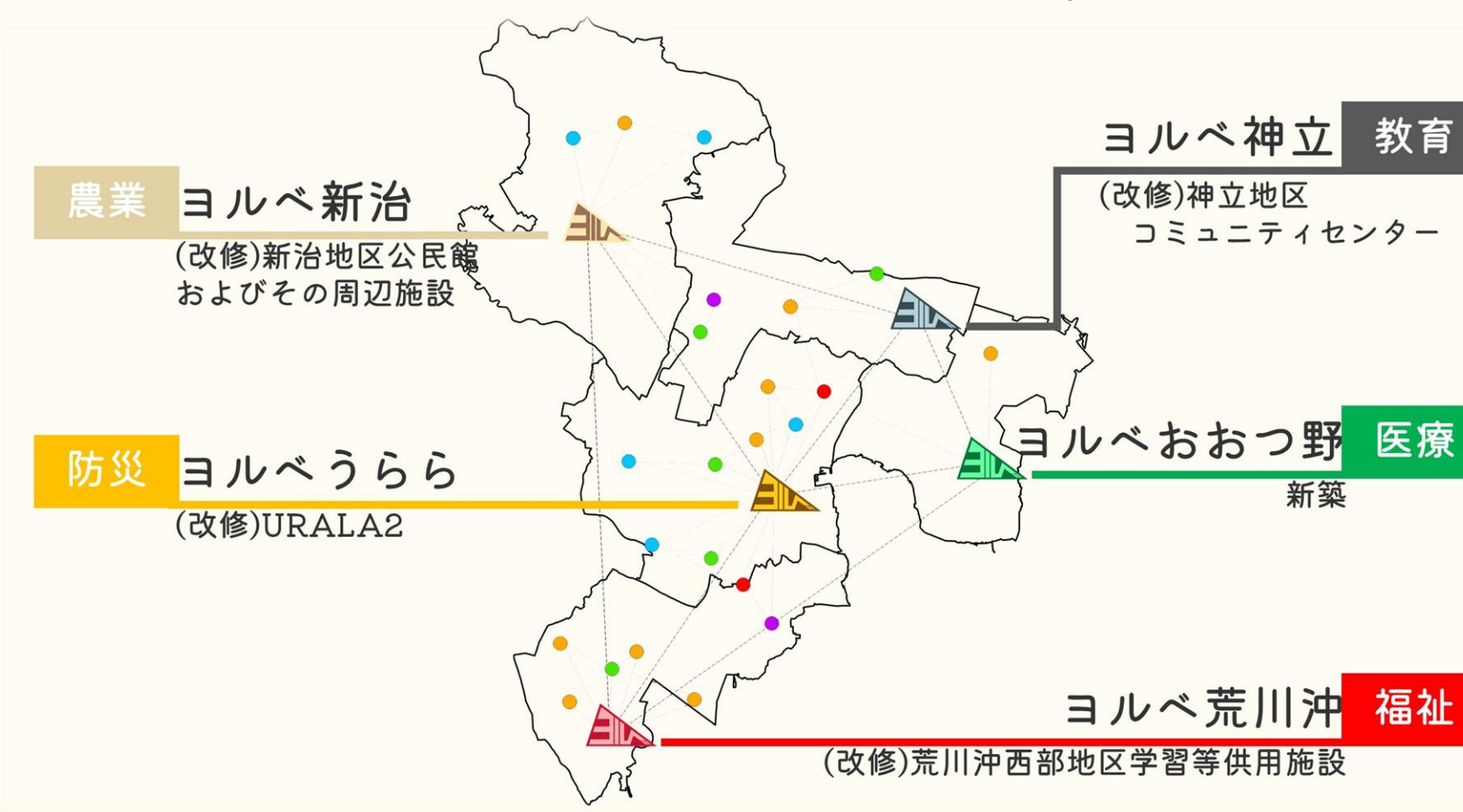
すべてのヨルベは地域の「たまり場」的な憩いの場所かつ、路線バスやのりあいタクシー土浦の交通結節点としての機能を持ちます。その中でも、市内5箇所に設置する機能を集約させた大規模な「地区ヨルベ」と、公共施設、コンビニ、スーパーマーケット等に併設される小規模な「青ヨルベ」に分かれます。

ヨルベは土浦のまちづくり拠点であり、市民のみなさんのココロが
つながる場所でもあります。



ヨルベおおつ野 イメージ図

ヨルベは市内28箇所に設置され、そのほとんどは既存の施設を活用
します。それぞれの地区ヨルベは各地区ごとに特色のある機能を持ち、
それぞれの地域での生活をより豊かなものにします。



ヨルベ×交通

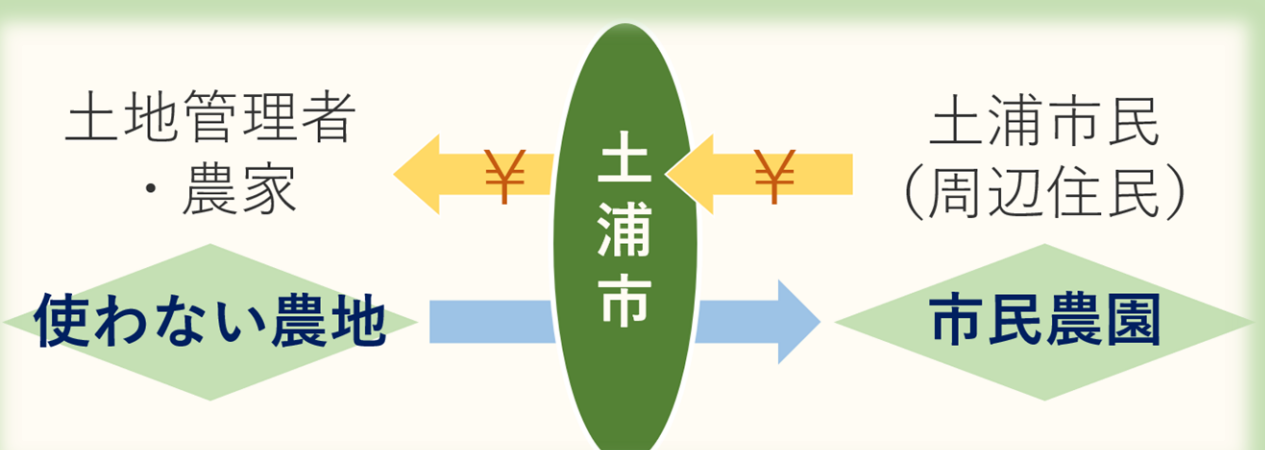
現在市全域を対象としている「のりあいタクシー土浦」を、各地区ヨルベごとに運用範囲を区切り、地区ヨルベからはバスでの移動中心に切り替えます。ヨルベを中心としたハブアンドスポーク型の交通網に再編することで、地域公共交通の効率化と利便性の向上を図ります。



各ヨルベでは、バス乗車のために乗客が集まったり、放課後の子どもの居場所となったり、買い物のちょっとした休憩に活用したりと、さまざまな世代の住民間での交流が可能になります。また、各ヨルベの機能は地域住民のニーズによってさらに広がっていきます。一人一人の「やりたい」と地域にとっての「大切」を叶え、地域住民の手でよりよい街を創り上げていく、それがヨルベです。

市民農園^{プラス}

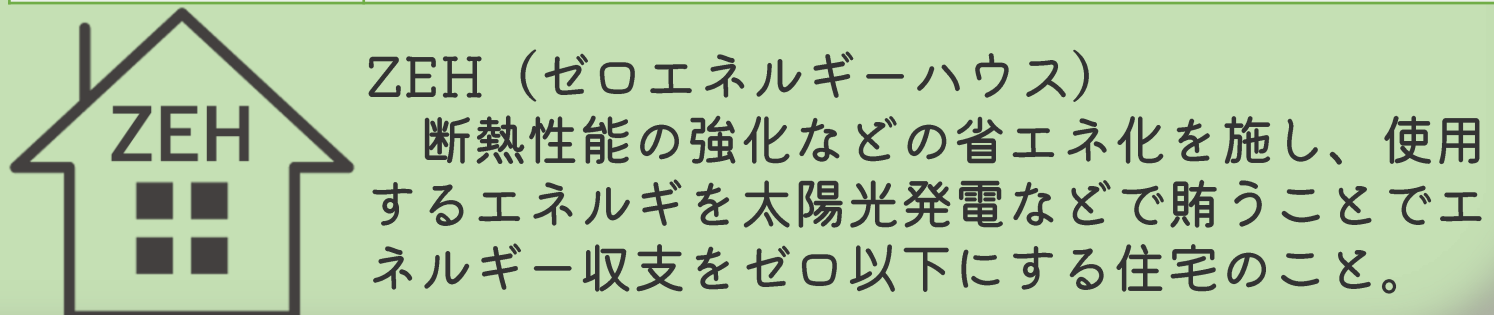
耕作放棄地を市民に貸し出す「市民農園」の制度をさらに推進します。土地所有者は農地を登録することで給付金が得られ、利用者は格安の賃料で気軽に農業体験を楽しむことができます。



ZEH^{ネット・ゼロエネルギーハウス} 推進事業

環境問題への対策として、ZEHの推進事業を実施。都市レベルでの省エネ化を目指します。自家発電・蓄電機能を備えることで災害による停電等にも強いまちになります。

対象	土浦市で既存住宅をZEH化する工事
助成額	工事費の1/3 (最大100万円)
予算	年間3000万円



土浦フラワーシップ



人と自然が「関係」を築いてゆく、
花と緑にあふれた大きな「船」。

霞ヶ浦総合公園を観光施設「土浦フラワーシップ」としてリニューアルします。園内では広大な花畑や霞ヶ浦湖畔での体験、様々な体験学習施設で地域の自然資源に親しむことができます。また、土浦の歴史と文化に触れられるイベントを通じて地域に愛着を育みます。さらに、土浦フラワーシップはサイクルツーリズムや市内観光の拠点としても機能し、毎年の営業利益で2億円、地域への生産波及効果が4億円と見込んでいます。

